



奉仕を通じて  
**平和を**  
田中作次  
2012-13年度  
国際ロータリー会長

FUJIEDA ROTARY CLUB  
**藤枝ロータリークラブ会報**  
例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321  
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040  
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org



会長：仲田 廣志 副会長：大塚 博巳 幹事：池ノ谷 敏正 副幹事：森下 敏顯

**第1988回**

【ラナンキュラス】

【2012-2013年度 RIテーマ】

■ ソング 我等の生業 ■ ソング リーダー 小泉 克彦君

写真提供：櫻井龍太君

**会長報告**

仲田 廣志君

皆さん、こんにちは。3月も中旬に入り、日も長くなり春を感じられる季節となりました。これから新年度を迎えて、学生達が就職、進学と夢を膨らませて新天地へ旅立つ時期でもあります。会社員の方においては、転勤の辞令などでて歓送迎会が多く開かれ何かと賑やかになる時期でもあります。日本の経済もこれから上昇基調へと進んでいきそうな雰囲気この今日この頃です。閉塞感に包まれた現状から未来志向できる世の中になってほしいと切に願うところです。



さて、我々ロータリアンのもとへ例年1月から2月の時期に「抜萃のつづり」という小冊子が配布されます。今年も2月に「その七十二」をいただきました。皆さんもお読みになってご存知の事と思いますが、熊平製作所の創業者である熊平源蔵という方が、社会に感謝・報恩の思いから昭和6年に創刊されたとのことです。読んだ本、エッセーから自らの糧として抜萃していたものを、修養、宗教、職業奉仕、健康などの項目にまとめて発刊、奉仕事業の一端としてお得意先、公共施設、知人、従業員に配ったところ大変好評を得たので、以来戦中戦後の時期を除いて、その年に接した感銘深い文章を転載させていただき今日まで号を重ねてきたとのことです。今回も、45万部を発行し、127カ国の日本大使館や総領事館、諸官庁、金融機関、上場企業、学校、病院、図書館、ロータリークラブなど全国8万3千ヶ所の団体・個人

に寄贈されたとのことです。掲載されている文章は、それぞれ原稿用紙4～5枚程度の短いものですが内容は濃く感動を覚えるお話、心洗われるお話も多く、私も毎回楽しんで読ませていただいているところです。この人を引きつける冊子ものもすごいものと思いますが、同時に70数年にわたって無償提供する会社にも驚愕するという畏敬の念を抱くところです。どんな会社か興味もありましたので、ネットで調べてみました。創業115年の歴史ある会社で金庫を製造している会社でした。また、その販売会社としてクマヒラを擁している会社でした。数多くある銀行の大型金庫の多くが熊平製なのではないかと思います。金庫の製造ということで地道に堅く物造りに励んできて大きく成長した素晴らしい会社だと思いましたが、創業者の時代から教育事業に真摯に取り組むとともに、勤労学生への資金援助など人材育成に貢献し続け現在も「財団法人熊平奨学文化財団」を設立して広島県内の留学生と文化事業を中心に援助を続けているとのことです。日々、会社経営に汲々としている私にとっては、別世界の会社のような気がしますが、ロータリアンとして奉仕という志は持ち続けていかなければと思ったところです。

さて、来週はPETSが開催されます。ロータリーもこの時期になりますと次年度への助走へと入っていきます。会員増強を含めて今年度から来年度へ藤枝クラブが発展的に継続出来ます様、皆様にこれからも変わらぬお力添えを願いまして、会長報告とさせていただきます。

## 幹事報告

池ノ谷 敏正君

- ガバナー補佐事務所より  
IMのお礼文が届いております。
- 2660地区より  
地区協議会案内が届いております。
- 2620地区より  
活動報告が届いております。  
静岡第6分区IMが静岡新聞に掲載されました。
- 2620地区より  
クラブ広報ガイドブックとニュースレター  
第88号が届いております。
- (公財)米山記念奨学会より  
ハイライトよねやま156号と賛助会員募集の  
案内が届いております。
- 藤枝市国際友好協会より  
会報が届いております。

## 出席報告

中森 義次君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
29 / 40 72.50%	35 / 40 87.50%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

石割君 櫻井君 杉山君 大長君  
山田君 江崎晴君 大杉君 落合君 玉木君  
仲田晃君 松葉隆君

## スマイルBOX

中森 義次君

- 夫人誕生祝・結婚記念祝Wでありがとうございました。家内が一番よろこんでおります。  
栗原 毅君
- 結婚記念ありかどうございます。夫婦仲よくこれらも頑張ります。  
河井 宏文君

スマイル累計金額 170,730円

## 表彰

☆マルチプル・ポール・ハリスフェロー

櫻井 龍太君 仲田 廣志君 池ノ谷 敏正君

## ■ テーブルメイトE卓話

「東南アジアガスエネルギー事情について」

小林 弘君



昨年9月9日(日)から16日(日)株式会社石油化学新聞社が主催した調査団に参加し、インドネシア・バリ島とシンガポールを訪問しました。参加者は22名(添乗員除く)でした。初日と最終日は移動日でした。

10日(月)にインドネシア・バリ島にて国営石油・ガス会社であるペルタミナ社を訪問しました。同国では、2007年より家庭用燃料を灯油からLPガスに転換するプロジェクトを進めております。家庭用につき3kgボンベで販売していますが、政府の補助金が支給されています。単位消費量は約10kg/月です。コンロは1口の簡素なもので無償貸与しています。全国で59百万世帯ありますが、業務用も含めその9割程度まで普及しています。同国はLPガスの国内消費量のうち、4割を自国で生産し、6割を輸入しています。サウジ・アラムコ社の通告価格であるCPなどの影響を受けるため、補助金を原料価格に応じて変動させ、消費者価格を一定にする政策を採っています。保安面ではやはり問題も多いようですが、今後の課題は、補助金に頼らずLPガスへの転換を進めること、消費者のLPガスに対するイメージを向上させること、島が多く安定供給のために多額の投資を必要とすること、などです。11日(火)はバリ島を回りました。

12日(水)、13日(木)は、第25回世界LPガスフォーラム・バリ大会に参加しました。会議参加者は世界67カ国約450名(登録者数は515名)ですが、運営担当者や技術展示のメーカー担当者も含めると1,200名近いと思われます。日本からは、25名が参加しました。いくつかの発表で、印象に残ったことは、インドネシアのLPガスへの転換プロジェクトが成功事例として評価されていること、CPが高いためこの将来見通しに関心

が集まっていること、北米でのシェールガスの増産に伴いLPガスも増産されるがこれが東南アジアの市場に流入する見込みであること、CPとは異なる価格指標が成り立つと考えていること、です。

14日(金)は、シンガポールに移動し、LPガスの販売会社である新協和石油気貿易公司を訪問しました。まず充填場を見学しました。同国は人口370万人、総世帯数115万件で、4割がLPガス、6割が都市ガスを使っています。同社代表者の邱氏は、東海ガスの名刺を見て「TOKAI GASは知っている。有名だ。」と言っていました。これほどグローバル化しているのかとも思いましたが、不思議でした。その後ショールームに移動し、なぜ東海ガスを知っているのか質問しましたが、「随分前から使っている。」と言われ、益々不思議でした。商品棚に「100円ライターのTOKAI」のバーベキューマッチがあり、「TOKAIとはこれのことか」と質問したら、「その通り。」との回答でした。

15(土)は、シンガポールの本島内を回りました。この度、調査団に参加して、東南アジアの二カ国のエネルギーなどの状況を現地で見聞できたことは、いい経験と勉強になりました。

### ■ 3 分 間 ス ピ ー チ 大塚 高弘君

東日本大震災

平成23年3月11

日午後2時46分

年、月 辛卯(かの

と・う)七赤金気

卯は東が定位で東に

五黄土気で五黄殺、東は震宮で震える。北東は一白水気

日 乙丑(きのと・うし)八白土気 丑は北東が定位で北東が二黒土気で暗剣殺

時 未(ひつじ)二黒土気「未13:00~15:00」

未は南西が定位で八白土気暗剣殺、北東は五黄土気で五黄殺

今年は、癸巳(みずのと・み)五黄土気の年

過去に五黄土気の年は関東大震災が大正12年9月1日11時58分に発生。

年、月五黄、日が八白、時 午三碧



暦で南西の土の作用が出そうな月は、5月、8月、11月かな

いずれにしる土の作用は二黒、五黄、八白、震えるは三碧、水の作用は一白

(担当/池谷君)